

2026年 百合杯 Aクラス

開催日：2026年7月12日

開催コース：桜～百合コース 使用グリーン：Bグリーン

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適応する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技会場の掲示物に搭載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は「一般の罰(2罰打)」となる。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 18.2)

アウトオブバウンズは白杭のコース側の地表レベルで結んだ線によって定められる。

2. ペナルティーエリア(規則 17)

桜3・5・9番、百合5・6番にあるペナルティーエリアの中に球がある場合(見つかっていない球がそのペナルティーエリアに止まったことが分かっている、または事実上確実である場合を含む)、プレーヤーには次の選択肢があり、それぞれ1罰打で:

- ・規則 17.1 に基づき救済を受ける。または、
- ・追加の選択肢として、元の球か別の球を、ドロップゾーンにドロップする。このドロップゾーンは規則 14.3 の基づく救済エリアである。(ドロップゾーンはドロップゾーンのポイント(杭)から1クラブレンジスの範囲)

3. 異常なコース状態(動かさない障害物を含む)(規則 16)

(a)修理地

- (1) 青杭を立て、白線で囲まれた区域。
- (2) ジェネラルエリアの張り芝の継ぎ目(スタンスへの障害は除く)
- (3) 鹿などの動物により生じたジェネラルエリア及びバンカー内の損傷区域は規則 16.1bに基づき救済が認められる修理地として扱われる。
その損傷がプレーヤーのスタンスにだけ障害となっている場合、救済は認められない。

(b)動かさない障害物

- (1) 排水溝
- (2) 複数の動かさない障害物が接している場合、それらはひとつの動かさない障害物として扱われる。
- (3) 動かさない障害物と白線でつながれている区域は、その動かさない障害物の一部として扱われる。

4. プレー禁止区域

電磁誘導カート用の2本のレール(白線でつながれている区域を含む)は、全幅をもってプレー禁止区域であり、異常なコース状態として扱われる。規則 16.1fに基づき、そのプレー禁止による障害からの罰なしの救済を受けなければならない。ただし、スタンスにだけ障害となる場合は、そのままプレーすることもできる。

5. 不可分な物

以下の物は不可分な物であり、無罰の救済は認めない。

- (a) 樹木やその他恒久的な物件に巻きついたり、密着させてあるもの。
- (b) ペナルティーエリア内にある人工の構造物。

6. クラブと球の規格

- (a) ストロークを行うために使うドライバーは R&A が発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド(モデルとロフトで識別される)を持つものでなければならない。
- (b) ストロークを行うときに使用する球は R&A が発行する最新の適合球リストに掲載されていないといけない。

このローカルルールの違反に対する罰:失格

7. ゴルフシューズ

ローカルルールひな型 G-7 を適応する。

8. プレーの中断と再開(規則 5.7)

(a) 即時中断(落雷等切迫した危険がある場合)

委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならない、委員会
がプレーを再開するまでは別のストロークを行ってはならない。

このローカルルールの違反に対する罰: 失格

即時中断中は、委員会がオープンを宣言するまでは、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習
施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、失格とすることが
ある。

(b) 通常の中断(日没やコースがプレー不能)

規則 5.7b、c、dに従って処置すること。

(c) プレーの中断と再開の合図

即時中断	:	}	カート搭載のナビゲーター無線を通じてプレーヤーに連絡する。
通常の中断	:		
プレーの再開	:		

9. 練習

ホールとホールの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

終了したばかりのグリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、終了したばかりのグリーンの表面をこすったり、
球を転がすことによってグリーン面をテストする。

10. キャディー

プレーヤーはラウンド中に委員会によって指定された者以外をキャディーとして使ってはならない。

このローカルルールの違反に対する罰: 違反があった各ホールに対して一般の罰を受ける。違反がホールとホール
の間で起きたり、ホールとホールの間まで続く場合、プレーヤーは次のホールで一般の罰を受ける。

競技の条件

1. 参加資格

ハンデキャップ 15 までとする。

2. スコアカードの提出

スコアリングエリア方式を採用する(プレーヤーの両足がエリアから出た時点をもって提出されたものとみなす)

3. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

4. タイの決定

タイの場合ハンデキャップの少ない者を上位とし、同ハンデキャップの場合は年長者を上位とする。

5. 入賞

入賞は 1 位～5 位迄とする。 尚、入賞者が表彰式に欠席した場合は、入賞資格を失う。

注意事項

1. 球がグリーン上にある場合、グリーンリーディング資料(ヤーデージブック、カートナビ等の)制限に違反した資料を
プレーの線を読む支援として使用すると規則 4.3 の違反となる。
2. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止することがある。
3. プレーヤーにエチケット違反、または非行があった場合には「行動規範」に基づいて制裁を受けることがある。また
重大な非行があった場合には規則 1.2a 及び規則 20.2 に基づいて失格とする場合がある。
4. ハーフラウンドに 2 時間 30 分以上費やし、正当な理由なく前の組との間隔を 15 分以上開けた組のすべてのプレ
ーヤーに罰(1 回目 1 罰打・2 回目 2 罰打)を課す。

競技委員長 清水 誠三